

平成27年度 生徒自ら行う学習環境整美事業実績報告書

更級農業高等学校長

下記のとおり事業を実施しました。

記

1 実績内容

事業名	通路の整備
実施主体名	農業クラブ 生産技術部
実施人数(生徒)	3年 23人 2年 19人
〃(保護者)	
〃(職員等)	2人
実施日	11月～12月
事業内容	農業工学科横の渡り廊下へつながる通路の未整備部分(土面)を、コンクリートで整備した。実習において、圃場から実習棟への移動はその通路を使用するため、その整備が急務であった。

2 実績額 84,270 円

(購入品目)

※添付書類で明細が分かる場合は省略可。

品名	規格	数量	単価	金額

3 実施成果の公表方法・時期

学校ホームページで公開(12月～)

様式 2 の付表

○事業を実施した結果、教育的効果（生徒の取組み等）の状況

- これまで、雨が降ると農業工学棟横の通路がぬかるみ、実習で一輪車などを使用して圃場から渡り廊下を横切る際に、廊下が汚れその後の清掃に時間がかかるばかりか、ぬかるみに足をとられて転倒するなどの危険性があった。今回の整備により、安全に通行できるように改善された。
- 土のむき出しになった路面から、コンクリート面に通路を造るという作業を実際に行うということが生徒にとって大変貴重な体験となった。同時に、自分たちが造った通路が今後全校生徒・職員に利用されるという責任感と自負が、作業に対してより真摯に向き合うことにつながった。

○事業を実施する上での問題点

- 生徒（特に2年生）の技術が身に付く時期を待って本作業を行ったが、コンクリートを成形する際に、気温が低すぎると（氷結などがあると）うまく完成されないために、時期の設定には注意を要した。

○今後、本事業に要望すること

- 生徒が自らの学校施設を整美する本事業は、予算の厳しい昨今、大変貴重な経験となると思う。今後も本事業の継続を願う。

○事業実施風景



通路に砂利敷き



側溝整備



側溝整備



生コンクリート運搬



生コンクリート入れ



コンクリート整地